

競争の勝利：トランプ政権の 2025 年 AI ドクトリンと米中技術競争の新時代に関する分析

Gemini Deep Research

要旨

2025 年 7 月 23 日、米国トランプ政権は、人工知能 (AI) に関する一連の包括的な大統領令に署名し、「アメリカの AI 行動計画」を発表した。この政策は、中国との激化する技術覇権争いを背景に、米国の「疑う余地のない、挑戦されることのない世界的な技術的優位性」を確立することを目的としている¹。本報告書は、この新たな AI ドクトリンの多角的な分析を行い、その戦略的根拠、国内的・国際的な影響、そして長期的な展望を考察する。

この政策の核心は、規制緩和による技術革新の促進、データセンターなどのインフラ構築の加速、そして同盟国への AI 技術輸出の拡大という 3 つの柱からなる。これらは、前バイデン政権が推進したリスク管理を重視するアプローチから、中国に対する「勝利」を最優先する「優位性確保」のパラダイムへと根本的に転換するものである。特に、連邦政府の調達において「ウォーク AI (woke AI)」を排除し、「真実探求」と「イデオロギー的中立性」を原則とすることを義務付ける政策は、国内の文化戦争と深く結びついている。

本報告書の主要な分析結果は以下の通りである。第一に、この政策は、米国の強みである民間主導のイノベーションと、中国の強みである国家主導の産業政策を融合させようとする「戦略的模倣」の側面を持つ。第二に、AI 開発の物理的なボトルネックであるエネルギーとインフラの問題に対処するため、環境規制を大幅に緩和する一方で、AI のデジタルな成果物に対してはイデオロギー的な規制を強化するという、内部的な矛盾を抱えている。第三に、「フルスタック AI」の輸出戦略は、技術的な依存関係を構築することで同盟国を米国のエコシステムに囲い込み、中国の影響力を削ぐための地政学的なツールとして設計されている。

この大胆な戦略は、米国内で賛否両論を巻き起こしている。産業界は規制緩和を歓迎する一方、公民権団体は公民権への脅威や連邦政府による州法の不当な無効化を非難している。国際的には、EU の規制中心のアプローチとは対照的であり、世界的な AI ガバ

ナンスの断片化を加速させる可能性がある。中国は米国の輸出規制に強く反発し、技術的自立への道をさらに加速させている。

結論として、トランプ政権の AI 行動計画は、大国間競争の時代における首尾一貫した攻撃的な戦略である。しかし、その成功は保証されておらず、イデオロギー的な問題を技術で解決しようとする試みの実現可能性、環境への長期的な負荷、そして米国の AI 競争力における最大の脆弱性である国内人材パイプラインの課題など、多くのリスクと未解決の問題を内包している。この高速かつ高リスクな賭けが米国の優位性を確保するのか、それともより分断され危険な技術の未来を加速させるのかは、今後の展開によって明らかになるだろう。

セクション 1：地政学的要請：2025 年における米中 AI ランドスケープ

トランプ政権の「AI 行動計画」を理解するためには、まずその背景にある戦略的文脈を把握する必要がある。この計画全体を貫く中心的な議論は、政権が、国家主導で急速に進歩する中国の AI エコシステムを実存的な脅威と認識していることである。この競争は単なる経済的なものではなく、軍事力、ガバナンスモデル、そして基本的な価値観にまで及ぶ、より広範な覇権争いの一部と位置づけられている²。

1.1 国家ドクトリンとしての「AI 競争」

政権は、AI 開発をアメリカが「勝利する」べきゼロサム「競争」として明確に位置づけている³。このレトリックは、かつての宇宙開発競争になぞらえ、国家資源を動員し、抜本的な政策変更を正当化するために設計されている³。政策の明言された目標は、経済的競争力と国家安全保障のために「アメリカの世界的 AI 優位性を維持・強化する」ことである⁴。これは、第一次トランプ政権から続くテーマの継続でもある⁶。この競争に勝利することは、「宇宙時代の幕開け以来の我々の能力の試金石」とされ、米国のテクノロジー企業に対して「アメリカを第一に考える」よう強く求めている³。

1.2 競合するエコシステム：比較分析

米中の AI エコシステムは、その構造と戦略において根本的な違いを見せている。この非対称な競争構造が、トランプ政権の政策決定の根底にある。

投資モデル

- **米国**：巨大な民間部門の投資によって主導されている。2024 年、米国の民間 AI 投資額は 1,091 億ドルに達し、中国の 93 億ドルを圧倒的に上回った⁹。特に生成 AI 分野だけでも、世界全体で 339 億ドルの民間投資を集めている⁹。このモデルは、フロンティア領域における急速なイノベーションを促進する強みを持つ。
- **中国**：国家主導の産業政策が特徴である。2025 年の AI 関連設備投資額は最大 980 億ドルに達すると予測され、そのうち 560 億ドルを政府が占めると見られている¹⁰。このアプローチは、ターゲットを絞った大規模なインフラ展開や、応用分野に焦点を当てた開発において優れた効率性を発揮する¹²。

技術的リーダーシップ

- **米国の強み**：米国は、トップレベルの著名な AI モデルの創出において世界をリードしており、2024 年には 40 のモデルを輩出し、中国の 15 を大きく引き離れた⁹。米国の企業は、フロンティアモデル開発の最前線に位置している¹⁵。
- **中国の躍進**：中国は、主要なベンチマークにおける性能差を急速に縮めており⁹、AI 関連の学術論文数や特許出願数では世界をリードしている⁹。また、商業化と応用を強く重視しており、2025 年までに AI を経済の中核的な推進力とすることを目指している¹²。DeepSeek のようなブレークスルーは、中国が効率的にイノベーションを生み出す能力を持つことを示している¹⁴。

人材パイプライン

- **米国の脆弱性**：ここは米国の重大な脆弱性となりつつある。中国は現在、トップレベルの AI 研究者の最大の輩出国となっており、世界全体の約半数を生み出しているのに対し、米国の割合は 18%に留まる¹⁷。
- **頭脳流出の逆転**：かつては中国の優秀な人材が米国に流出する「頭脳流出」が米国の強みであったが、この傾向は逆転し、より多くの研究者が中国国内に留まるようになってきている¹⁷。これは、2018 年以降の中国政府による AI 教育への大規模な投資の直接的な成果である¹⁷。
- **政策と現実の乖離**：地政学的な緊張の高まりにより、米国のテクノロジー企業は中国での研究開発活動を縮小している¹⁸。しかし、それと同時に、これらの企業は中国のトップ人材を積極的に採用し続けており、国家安全保障政策と企業の現実的な必要性との間に深刻な緊張関係が生じている¹⁷。

表 1.1: AI 超大国比較メトリクス (2024 -2025 年)

メトリクス	アメリカ合衆国	中華人民共和国
民間 AI 投資額 (2024 年)	1,091 億ドル ⁹	93 億ドル ⁹
予測される国家主導 AI 設備投資額 (2025 年)	(より低い、非特定)	560 億ドル~980 億ドル ¹⁰
輩出された著名 AI モデル数 (2024 年)	40 ⁹	15 ⁹
学術論文・特許におけるリーダーシップ	追随 ⁹	先導 ⁹
輩出されたトップレベル AI 研究者の割合	約 18% ¹⁷	約 47% ¹⁷
主要な戦略的焦点	フロンティアモデルの革新、	産業応用、自立、経済変革 ¹²

	世界的優位性 ⁴	
主要なガバナンスアプローチ	規制緩和、市場主導 ³	適応的規制、国家主導 ¹²

この「AI 行動計画」は、単に中国への対抗策というだけでなく、中国の強みと見なされる点を模倣しようとする「戦略的模倣」の一形態と見ることができる。米国は、自国の強みであるボトムアップ型の民間セクターのイノベーションエンジンに、中国の成功モデルである国家主導のインフラ整備と輸出戦略というトップダウン型のアプローチを融合させようとしている。データは、米国が民間のイノベーションで優位に立つ⁹一方で、中国が国家主導のインフラ構築で優れていることを示している¹⁰。トランプ政権の大統領令が、インフラ整備を加速するための連邦政府の介入²⁰や、輸出のための産業界の組織化⁸に重点を置いていることは、産業政策の典型的な特徴である。これは、純粋な自由市場のダイナミクスだけでは、中国の協調的な国家戦略に対抗するには不十分であるというワシントンの戦略的認識を示唆している。したがって、この計画は、シリコンバレーのダイナミズムを維持しつつ、それを国家支援のスピードとスケールで強化するという、競合国の戦略から直接的に要素を借用したハイブリッドモデルなのである。

さらに、米国が現在フロンティアモデル開発でリードしている一方で、その長期的な優位性は、世界的な人材の流れの逆転によって深刻な脅威にさらされている。中国によるAI人材の大量の国内輩出¹⁷と、その人材が米国へ移動する傾向の低下が組み合わさることで、資本投資だけでは解決できない戦略的脆弱性が生まれている。AIイノベーションにとって最も重要な資源は人的資本である。中国が今や最も多くのトップ研究者を輩出し、米国に来る研究者が減少しているというデータ¹⁷は、将来的にこの最も重要な資源が不足する可能性を示している。政権がAI教育イニシアチブ²²に力を入れているのは、この実存的な脅威に対する直接的、albeit長期的な対応である。国内のAI教育への注力²²は、単なる社会プログラムではなく、この将来の不足を緩和し、持続可能な国内人材パイプラインを構築するための国家安全保障上の必須事項となっている。

セクション2：アメリカのAI行動計画の解体：三本柱の戦略

本セクションでは、2025年7月23日に署名された3つの大統領令を詳細に分析する。それぞれの政策の具体的な規定、その根底にある論理、そしてそれらが集合的に、一貫性のある、しかし物議を醸す国家戦略をどのように形成しているかを解き明かす。

この分析は、イデオロギー的な基盤から物理的なインフラ、そして最終的には技術力の国外への投射へと展開していく。

2.1 国内戦線：規制緩和と「ウォーク AI」との戦い

この政策の柱は、2025年1月の大統領令 14179 号にその根源を持つ。この大統領令は、バイデン政権の大統領令 14110 号を明確に撤回し⁴、「イデオロギー的偏見や意図的に設計された社会的主張から自由な」AIを開発することで「障壁」を取り除くことを目的としていた⁴。これが7月の行動の舞台を設定した。

「ウォーク AI の連邦政府における防止」に関する大統領令は、産業界の基準に影響を与える強力な手段である連邦政府の調達を標的としている²⁶。この命令は、連邦機関が大規模言語モデル (LLM) を調達する際に、2つの「偏りのない AI 原則」を遵守することを義務付けている²⁷。

- **原則 1：真実探求 (Truth-seeking)**：LLM は「真実」を追求し、「歴史的正確性、科学的探求、客観性」を優先し、不確実性を認めなければならない²⁶。
- **原則 2：イデオロギー的中立性 (Ideological Neutrality)**：LLM は、「DEI (多様性、公平性、包摂性) のようなイデオロギー的ドグマ」を支持しない「中立で超党派的なツール」でなければならない²⁶。大統領令は、「批判的人種理論、トランスジェンダリズム、無意識の偏見、インターセクショナリティ、制度的人種差別」といった概念を、排除すべき破壊的なイデオロギーとして名指しで挙げている²⁶。

ホワイトハウスのファクトシートは、この命令の正当化として、AI モデルが白人の功績を称えることを拒否した事例や、「ミスジェンダリング」を避けることが核による世界の終末を阻止することよりも重要であると主張した事例など、認識された偏見の例を挙げている²⁶。これは、技術政策を「ウォーク」イニシアチブに対するより広範な保守的な文化戦争と直接結びつけるものである³。実施にあたっては、行政管理予算局 (OMB) が実施ガイダンスを発行し、連邦契約には違反したベンダーに責任を負わせる条項が含まれることになる²⁶。

この「ウォーク AI」に関する大統領令は、連邦政府の年間 7,000 億ドルを超える購買力を、イデオロギー的かつ市場形成的なツールとして活用する巧みな戦略である。これは、大手テクノロジー企業に対し、政府との有利な契約を確保するために政権が定義する「中立性」に準拠するか、市場から締め出されるリスクを冒すかの選択を迫るもので

ある。連邦契約は、Microsoft、Google、Amazon といったテクノロジー大手にとって莫大な収益源である²⁸。大統領令は、この収益を、曖昧に定義された「偏りのない AI 原則」の遵守と結びつけている²⁶。これにより、政権は民間 AI を直接規制するのではなく、巨大な財政的圧力を利用して民間セクターの行動を強制し、事実上の規制を法制化なしに創出している。これは、企業が政府準拠のモデルを別途開発する強力なインセンティブを生み出し、AI 市場を二分させ、政権が物議を醸すと見なすトピックに関する言論や研究を萎縮させる可能性がある。

2.2 エンジンの構築：データセンターとエネルギーインフラの解放

「データセンターインフラの連邦許認可の迅速化」に関する大統領令は、AI の拡大における最大の物理的ボトルネック、すなわち巨大なデータセンターとそれを稼働させるための膨大なエネルギー需要に対処するために設計されている³。

主な規制緩和措置には以下のものが含まれる：

- 国家環境政策法（NEPA）に基づく環境審査の合理化。データセンタープロジェクトに対する新たな「カテゴリカル・エクスルージョン（一律適用除外）」を設けることで実現する²⁰。
- FAST-41 フレームワークを通じたプロジェクトの迅速化²⁰。
- 2025 年 1 月の、より制限の厳しいインフラ関連の先行命令（大統領令 14141 号）の撤回²⁰。
- ブラウンフィールド（汚染された遊休地）やスーパーファンド（有害廃棄物指定地域）サイトのデータセンター開発への利用促進²⁰。

この政策の背景には、AI ブームによるエネルギー需要の爆発的な増加がある。世界的に、データセンターの電力消費量は 2022 年から 2026 年の間に 2 倍以上に増加し、日本の総消費量に匹敵すると予測されている³²。米国では、2026 年までにデータセンターが国内総電力の 6% を消費する可能性がある³³。この需要は再生可能エネルギーの成長を上回っており、化石燃料への依存を再び強め、石炭火力発電所の閉鎖を遅らせる結果となっている³⁴。

政権の戦略には、根本的な緊張関係が存在する。「競争に勝利する」ために、AI の物理的なフットプリントがもたらす環境への影響に関する規制は緩和する³一方で、AI のデジタルなアウトプットが持つイデオロギー的な内容については同時に再規制を行っ

ている²⁶。インフラに関する大統領令は、特に環境関連の規制障壁を取り除くことを明確な目的としている²⁰。対照的に、「ウォーク AI」に関する大統領令は、AI モデルに新たな規制要件と原則を課すことを目的としている²⁶。同日に署名されたこれら二つの行動は、政府の監督の役割に関して哲学的に正反対の方向を向いている。この矛盾は、この政策が一貫した原則（例えば「小さな政府」）によって動かされているのではなく、価値観のヒエラルキーに基づいていることを示している。すなわち、地政学的な優位性と文化的な適合性が、環境保護よりも重要視されているのである。

2.3 権力の投射：外交政策としての「アメリカン AI 輸出プログラム」

「アメリカン AI 技術の輸出促進」に関する大統領令は、商務長官の下に「アメリカン AI 輸出プログラム」を設立するものである⁸。

このプログラムの中核は、「フルスタック、エンドツーエンドのパッケージ」を同盟国やパートナー国に提供することである⁸。この「スタック」には以下が含まれる：

- ハードウェア（チップ、サーバー）
- データシステムと AI モデル
- サイバーセキュリティ対策
- 特定のセクター向けアプリケーション（医療、教育など）

その戦略的目標は、「敵対国（すなわち中国）が開発したシステムへの世界的な依存を減らす」ことにある⁸。アメリカのエコシステム全体を輸出することで、米国は同盟関係を強化し、米国の基準とガバナンスモデルを普及させ、技術的優位性を維持することを目指している⁸。このプログラムは、経済外交行動グループ（EDAG）からの融資や保証といった連邦政府の金融ツールによって支援される⁸。

この輸出戦略は、単なる貿易促進を超えた意図を持っている。ハードウェア、ソフトウェア、モデル、基準を一体として提供することで、米国は一種の依存エコシステムを構築しようとしている。アメリカのフルスタックを導入した同盟国は、技術的にも経済的にも、他国（特に中国）のエコシステムのコンポーネントに切り替えたり統合したりすることが困難になる。これは、技術的統合を通じて地政学的な連携を固定化し、歴史的な経済帝国が築いたようなデジタルな勢力圏を創出するための長期的な戦略である。このプログラムは、単一の製品ではなく「フルスタック」のパッケージを推進する⁸。技術スタックは「ロックイン効果」を生み出す。ある層（例えばハードウェア）が他の層

(ソフトウェア、モデル) に最適化されている場合、その層だけを交換することは難しい。明示された目標は、敵対国への依存を減らし、米国の基準を促進することである⁸。したがって、このプログラムは、技術的優位性を利用して依存的な同盟国のネットワークを構築し、中国の代替エコシステムを孤立させながら、米国の利益と基準に長期的に沿うことを確保する、地政学的な「ソフトパワー」の一形態なのである。

セクション 3 : アメリカのエコシステム : 分断された反応

AI 行動計画は、米国内で深い亀裂を露呈させた。この計画は、イノベーションを解き放つものとして歓迎する産業界の支持者と、無謀で危険だと見なす公民権団体や環境団体からの激しい非難の両方を引き起こしている。

3.1 産業界とビジネス界の反応 : 「まさに昼と夜」

テクノロジー業界の業界団体、例えば Google や Meta が支援する NetChoice は、この計画の「お役所仕事の削減への焦点」を称賛し、バイデン時代の規制の重荷と比べて「まさに昼と夜」の違いだと評価している³⁷。データセンターの許認可手続きを合理化する動きは、テクノロジー企業からの長年の要求に直接応えるものである³。Nvidia の CEO であるジェンソン・フアン氏は、トランプ大統領の存在がもたらす利点を公に称賛した³。「ウォーク AI」への焦点は、トランプ大統領の AI 担当トップアドバイザーであるデビッド・サックス氏やイーロン・マスク氏のような、保守的なベンチャーキャピタリストやテクノロジーリーダーたちの間で共有されている懸念と完全に一致している²⁸。彼らはこの計画を、シリコンバレーに蔓延するとされるリベラルな偏見を是正するために必要な措置と見なしている。

3.2 市民社会と権利擁護団体の反応 : 「危険な後退」

アメリカ自由人権協会 (ACLU) は、この計画を「公民権保護における危険な後退」であると激しく非難している³⁸。彼らは、NIST の AI リスク管理フレームワークから

DEI、偽情報、気候変動に関する言及を削除するよう指示することは、開発者が差別的な害を考慮することを妨げる可能性があるとして主張している³⁸。また、「イデオロギック的中立性」を義務付けることは、AIが人種、ジェンダー、不平等についてどのように語るかを検閲し、言論の自由に影響を与える可能性があるとして警告している³⁸。

さらに、独自の「負担の大きい」AI規制を制定した州から連邦資金を差し控えるという計画の脅しは、州の権限を不当に無効化しようとする違法な試みと見なされている。このアプローチは、連邦議会が上院で99対1の投票で明確に拒否したものである³⁷。これは、法曹界や憲法専門家から重大な懸念を呼んでいる。環境面では、労働組合や環境正義団体を含む95の団体が、この産業主導の政策に反対する決議に署名し、データセンターブームのコストは、電気料金の高騰や水資源の枯渇という形で国民が負担することになると主張している²⁹。

3.3 労働力と経済への影響

労働省は、この計画を「労働者中心のAI戦略」であり、AIリテラシーと技能訓練を促進することで繁栄をもたらすものとして称賛している⁴²。計画では、労働市場への影響を評価するための「AI労働力研究ハブ」の設立が盛り込まれている⁴²。

しかし、この楽観的な見方とは裏腹に、AIが引き起こす「ホワイトカラー不況」への根強い懸念が存在する。この不況では、企業の利益が急増する一方で、金融、法律、マーケティングといった専門職が代替される可能性がある⁴³。ブルッキングス研究所の分析によれば、生成AIは、これまでの自動化の波とは異なり、高給の知的労働に大きな影響を与える可能性が高いとされている⁴⁴。これは、政権の労働者寄りなレトリックと、主要セクターにおける大規模な雇用喪失の可能性との間に乖離があることを示している。

このAI行動計画は、単なる技術政策ではなく、民主党の連合を分断するために設計された政治的な道具でもある。議論を「イノベーション対ウォーク規制」や「アメリカの雇用対気候ドグマ」といった形で設定することで、政権は反対派を政治的に困難な立場に追い込んでいる。この計画の言葉遣いは、「ウォークなマルクス主義者の狂気」や「過激な気候ドグマ」といったように、高度に政治化されている³。これにより、テクノロジー推進派で成長志向の中道派と、公民権や環境正義を重視する進歩派との間に亀裂を生じさせ、反対勢力の内部摩擦を引き起こすことを狙っている。

さらに、計画に含まれる州法の無効化条項³⁷は、連邦政府と、コロラド州やユタ州のように独自の AI 法をすでに制定している州との間で、大規模な法的・政治的対立の舞台を設定している⁴⁷。これは、テクノロジーという新たな要素が加わった古典的な州の権利を巡る争いである。複数の州が積極的に AI に関する法制化を進めている⁴⁷のに対し、トランプ政権の計画は連邦資金の差し控えをちらつかせてこれらの州法を無効化しようと試みている³⁷。この行動は、連邦議会が行政機関にこのような無効化権限を与えていないため、法的に疑わしい³⁸。この対立の行方は、最終的に裁判所で決着がつく可能性が高く、デジタル時代におけるアメリカの連邦主義の未来を形作ることになるだろう。

セクション 4：グローバルなチェス盤：国際的な反応と戦略的再編

本セクションでは、分析の範囲を国際舞台に広げ、政権の断固とした新ドクトリンが敵対国と友好国の双方にどのように受け止められているかを検証する。米国は「一方的に競争のルールを設計しようとしている」が³⁶、これは同盟国を結集させるか、あるいは疎遠にするかの、大きな賭けである。

4.1 敵対国の反応：中国の自立への傾倒

北京政府は、米国の AI 関連輸出規制に断固として反対し、これを「国際多角的貿易ルールへのあからさまな違反」であり、国家安全保障の概念の乱用であると非難している⁴⁸。米国の規制は、中国が「自立」を達成し、「自主的に制御可能な」AI ハードウェアおよびソフトウェアエコシステムを構築するという決意を強める結果しかもたしていない¹³。これには、Huawei のような国内の半導体チャンピオン企業や、PaddlePaddle のようなソフトウェアプラットフォームへの大規模な国家投資が含まれる¹³。

米国は、輸出規制において困難なバランス調整を迫られている。厳しい規制は中国の進歩を遅らせることができる一方で、米国企業が巨大な中国市場へのアクセスを求めて規制の例外を求めるロビー活動を行うインセンティブも生み出している。政権が最近、Nvidia の H20 チップの中国への販売再開を許可した決定は、伝えられるところによればレアアース鉱物を巡るより広範な貿易協定の一部であり、この緊張関係を浮き彫りに

している。この動きは、重要な戦略的優位性を手放すものとして批判されており⁵⁰、北京政府はこれを米国の一方的な譲歩と位置づけている⁵¹。

4.2 同盟国の視点：相違と交渉

- **欧州連合（EU）：哲学の衝突：**米国のアプローチは、EUの画期的なAI法と真つ向から対立している。
 - **EUモデル：**包括的、リスクベース、かつ規範的であり、安全性と基本的人権の保護を確保するために民間セクターを直接規制する⁴⁷。
 - **米国モデル：**規制緩和、イノベーション重視であり、調達や輸出政策を通じて間接的に民間セクターに影響を与える³。
 - この哲学的な隔たりは、大西洋間の技術関係に大きな課題をもたらし、世界的な規制環境の断片化を招く可能性がある。企業は、2つの全く異なるコンプライアンス体制に対応する必要に迫られるだろう³⁶。
- **日本：交渉材料としてのAI：**日本の反応は、より広範な貿易・安全保障交渉と絡み合っている。最近の貿易協定の一環として、日本は関税引き下げと引き換えに、AI技術を含む分野で米国に5,500億ドルを投資することに合意した⁵³。これは、米国がAIにおけるリーダーシップと市場アクセスを、より広範な外交・経済交渉におけるツールとして活用していることを示している⁵⁴。

米国とEUの対立する規制哲学、そして中国の自立した技術スタックへの傾倒は、グローバルなデジタルエコシステムの断片化を加速させている。世界は、3つの異なるAI勢力圏へと向かっているように見える。すなわち、米国主導の市場主導型ブロック、EU主導の権利ベースの規制型ブロック、そして中国主導の国家管理型ブロックである。このAIにおける「スプリンターネット（分断されたインターネット）」は、グローバル企業にとって巨大な摩擦を生み、国際的な科学協力を妨げ、小国にいずれかの陣営につくことを強いるだろう。米国は規制緩和と輸出主導のモデルを推進し⁸、EUは包括的で権利ベースの規制モデルを推進し⁴⁷、中国は壁に囲まれた自給自足のエコシステムを構築している¹³。これら3つのアプローチは根本的に相容れないため、AIに関する単一のグローバルスタンダードではなく、それぞれが独自のルール、標準、主要プレーヤーを持つ3つの競合する技術政治ブロックが出現する可能性が高い。

さらに、米国の輸出規制は、意図せずして中国のイノベーションを加速させる可能性がある。米国のトップレベルのチップへのアクセスを断つことで、ワシントンはAlibabaやTencentといった巨大企業からスタートアップまで、中国のテクノロジーエコシス

テム全体を、Huawei の Ascend チップのような国内代替品に結集させ、投資させることを余儀なくさせている¹³。これらの代替品は現時点では劣っているかもしれないが、この強制的な導入は、それらの開発サイクルを加速させる巨大な保護市場を生み出す。米国の輸出規制は Nvidia チップへのアクセスを制限する¹³。中国企業は計算能力に制約を受けながらも AI 開発を続けなければならない¹³。これにより、彼らは国内の代替品（例：Huawei Ascend）を使用し、改良することを強いられる¹³。これは Huawei にとって巨大な独占市場を生み出し、製品を急速に改善するために必要な収益と実世界からのフィードバックを提供する。長期的には、米国の政策は、皮肉にも自らが抑制しようとしている競争相手を育成してしまう可能性がある。これは、制裁が裏目に出る典型的な事例である。

セクション 5：戦略的展望と主要な未解決問題

本最終セクションでは、報告書の分析結果を統合し、「AI 行動計画」の将来的な評価を提供する。この新ドクトリンの主要な緊張関係、リスク、そして潜在的な成果を分析し、その成功の見通しについてバランスの取れた見解を示す。

5.1 中核的な賭け：スピードはリスクを上回れるか？

この戦略全体は、イノベーションと展開のスピードが地政学的な競争において最も重要な単一の要因であるという信念に基づいている。安全性、倫理的配慮、環境の持続可能性は、優位性を達成するという目的のために、明確に優先順位を下げられている⁴。これは重大な問いを提起する。米国は、予期せぬ技術的失敗、社会的な反発、あるいは環境危機に対して脆弱な、優位性はあるが脆い AI エコシステムを構築することになるのか？それとも、開発の速さが、これらのリスクが顕在化する前に、乗り越えられないほどのリードを生み出すのだろうか？

5.2 「イデオロギー的中立性」の実現可能性

本報告書は、「偏りのない AI 原則」が技術的に達成可能であるか、あるいは哲学的に一貫性があるかについて、批判的に検討する。すべての LLM は、本質的に偏見、矛盾、多様な価値観に満ちた人間のテキストからなる膨大なデータセットで訓練されている⁵⁶。政府が定義する「真実」や「中立性」を強制しようとする試みは、不可能である可能性が高く、真に客観的であるというよりは、単に異なる一連の政治的バイアスに沿ったモデルを生み出す結果に終わるかもしれない⁵⁷。NeurIPS のようなトップレベルの AI カンファレンスの研究は、嘘を見抜くこと、ましてや普遍的な真実を強制することの技術的な困難さを浮き彫りにしている⁶⁰。

5.3 インフラブームの長期的コスト

計画の成功はデータセンターの大規模な建設にかかっているが、その長期的な環境的・社会的コストは完全には考慮されていない。電力網や水供給への負担は、国民の反対を引き起こし、新たな経済的脆弱性を生み出す可能性がある²⁹。「気候ドグマ」の拒絶³⁷は、米国を世界的な気候目標と対立させ、特に EU のような同盟国との国際的な立場を損なう可能性がある。

5.4 結論的評価

トランプ政権の AI 行動計画は、大国間競争の時代に合わせて設計された、大胆で、首尾一貫した、攻撃的な戦略である。インフラとグローバルな標準設定の決定的な重要性を正しく認識している。

しかし、その成功は決して保証されていない。この計画は重大なリスクを伴う。存在しないかもしれないイデオロギー的な問題に対して技術的な解決策を賭けており、環境的な限界との衝突コースを設定し、その一方的な姿勢で主要な民主主義同盟国を疎遠にするリスクを冒している。そして最終的には、AI 競争における米国の核心的な脆弱性、すなわち国内の人材パイプラインに対処できていない可能性がある。この高速かつ高リスクな賭けが、アメリカの優位性を確保するのか、それともより分断され危険な技術の未来を加速させるのか、今後数年間で明らかになるだろう。

引用文献

1. America's AI Action Plan - The White House, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.whitehouse.gov/wp-content/uploads/2025/07/Americas-AI-Action-Plan.pdf>
2. New CNAS Report on the World-Altering Stakes of U.S.-China AI..., 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.cnas.org/press/press-release/new-cn-as-report-on-the-world-altering-stakes-of-u-s-china-ai-competition>
3. Trump's AI action plan: US president signs executive orders; seeks to make America leader in artificial intelligence race, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://timesofindia.indiatimes.com/world/us/trumps-ai-action-plan-us-president-signs-executive-orders-seeks-to-make-america-leader-in-artificial-intelligence-race/articleshow/122869113.cms>
4. Removing Barriers to American Leadership in Artificial Intelligence - The White House, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/01/removing-barriers-to-american-leadership-in-artificial-intelligence/>
5. Administration of Donald J. Trump, 2025 Executive Order 14179—Removing Barriers to American Leadership in Artificial Intelligence - GovInfo, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.govinfo.gov/content/pkg/DCPD-202500170/pdf/DCPD-202500170.pdf>
6. Artificial Intelligence for the American People - Trump White House Archives, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://trumpwhitehouse.archives.gov/ai/>
7. AI Under the Spotlight: Key Insights Ahead of the White House Action Plan, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.workforcebulletin.com/ai-under-the-spotlight-key-insights-ahead-of-the-white-house-action-plan>
8. Fact Sheet: President Donald J. Trump Promotes the Export of American AI Technologies, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.whitehouse.gov/fact-sheets/2025/07/fact-sheet-president-donald-j-trump-promotes-the-export-of-american-ai-technologies/>
9. The 2025 AI Index Report | Stanford HAI, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://hai.stanford.edu/ai-index/2025-ai-index-report>
10. China to deploy \$98bn in AI investment this year amid US tech rivalry, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://techwireasia.com/2025/06/china-ai-investment-98-billion-2025-us-rivalry/>
11. China's AI Capex to Hit 700 Billion Yuan in 2025 Amid US Tech Rivalry - Fintech Hong Kong, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://fintechnews.hk/34553/fintechchina/china-ai-capex-2025-us-rivalry/>
12. Transforming industries with AI: Lessons from China's journey - The World Economic Forum, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.weforum.org/stories/2025/01/transforming-industries-with-ai-lessons-from-china/>
13. Full Stack: China's Evolving Industrial Policy for AI - RAND Corporation, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.rand.org/pubs/perspectives/PEA4012-1.html>

14. AI in China: A Sleeping Giant Awakens - Morgan Stanley, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.morganstanley.com/insights/articles/china-ai-becoming-global-leader>
15. Securing Full Stack U.S. Leadership in AI- CSIS, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.csis.org/analysis/securing-full-stack-us-leadership-ai>
16. 2025 a crucial year for AI applications - China Daily, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.chinadailyhk.com/hk/article/606251>
17. AI: US AI Talent hunt includes China. RTZ #767 | by Michael Parekh | Jun, 2025 - Medium, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://medium.com/@mparekh/ai-us-ai-talent-hunt-includes-china-rtz-767-120b516142f4>
18. Amazon follows IBM and Microsoft, shuts China AI lab that generated nearly \$1 billion in sales, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://timesofindia.indiatimes.com/technology/tech-news/amazon-follows-ibm-and-microsoft-shuts-china-ai-lab-that-generated-nearly-1-billion-in-sales/articleshow/122862932.cms>
19. China's AI Strategy: A Case Study in Innovation and Global Ambition, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://trendsresearch.org/insight/chinas-ai-strategy-a-case-study-in-innovation-and-global-ambition/>
20. Accelerating Federal Permitting of Data Center Infrastructure – The ..., 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/07/accelerating-federal-permitting-of-data-center-infrastructure/>
21. Promoting The Export of the American AI Technology Stack - The White House, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/07/promoting-the-export-of-the-american-ai-technology-stack/>
22. Advancing Artificial Intelligence Education for American Youth - The White House, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/04/advancing-artificial-intelligence-education-for-american-youth/>
23. Administration of Donald J. Trump, 2025 Executive Order 14277—Advancing Artificial Intelligence Education for American Youth A - GovInfo, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.govinfo.gov/content/pkg/DCPD-202500511/pdf/DCPD-202500511.pdf>
24. U.S. Department of Education Issues Guidance on Artificial Intelligence Use in Schools, Proposes Additional Supplemental Priority, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.ed.gov/about/news/press-release/us-department-of-education-issues-guidance-artificial-intelligence-use-schools-proposes-additional-supplemental-priority>
25. Executive Order 14179 - Wikipedia, 7 月 24, 2025 にアクセス、 https://en.wikipedia.org/wiki/Executive_Order_14179
26. Preventing Woke AI in the Federal Government - The White House, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/07/preventing-woke-ai-in-the-federal-government/>
27. Fact Sheet: President Donald J. Trump Prevents Woke AI in the ..., 7 月 24, 2025

- にアクセス、 <https://www.whitehouse.gov/fact-sheets/2025/07/fact-sheet-president-donald-j-trump-prevents-woke-ai-in-the-federal-government/>
28. From tech podcasts to policy: Trump's new AI plan leans heavily on Silicon Valley industry ideas, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://apnews.com/article/trump-ai-artificial-intelligence-3763ca207561a3fe8b35327f9ce7ca73>
 29. The Latest: Trump will reveal 'AI Action Plan' shaped by his Silicon Valley supporters, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.boston25news.com/news/latest-trump-will/R36DS4A6ABC3HHK7XFCW5L2OOM/>
 30. Trump White House To Crack Down On 'Woke AI' With Executive Order Targeting Political Bias In Government-Contracted Chatbots And Models: Report - Webull, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.webull.com/news/13180650186171392>
 31. Fact Sheet: President Donald J. Trump Accelerates Federal Permitting of Data Center Infrastructure - The White House, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.whitehouse.gov/fact-sheets/2025/07/fact-sheet-president-donald-j-trump-accelerates-federal-permitting-of-data-center-infrastructure/>
 32. Explained: Generative AI's environmental impact | MIT News, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://news.mit.edu/2025/explained-generative-ai-environmental-impact-0117>
 33. Environmental Considerations for Using AI - The Elm - The University of Maryland, Baltimore, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://elm.umaryland.edu/elm-stories/2025/Environmental-Considerations-for-Using-AI.php>
 34. The growing environmental impact of AI data centers' energy demands - PBS, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.pbs.org/newshour/show/the-growing-environmental-impact-of-ai-data-centers-energy-demands>
 35. As AI explosion threatens progress on climate change, these researchers are seeking solutions | CU Boulder Today, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.colorado.edu/today/2025/04/16/ai-explosion-threatens-progress-climate-change-these-researchers-are-seeking-solutions>
 36. Experts react: What Trump's new AI Action Plan means for tech, energy, the economy, and more - Atlantic Council, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.atlanticcouncil.org/blogs/new-atlanticist/experts-react-what-trumps-new-ai-action-plan-means-for-tech-energy-the-economy-and-more/>
 37. Trump's AI Plan Sparks Industry Praise and Warnings of Risk - BankInfoSecurity, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.bankinfosecurity.com/trumps-ai-plan-sparks-industry-praise-warnings-risk-a-29042>
 38. ACLU Comment on Trump Administration's AI Action Plan | American Civil Liberties Union, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.aclu.org/press-releases/aclu-comment-on-trump-administrations-ai-action-plan>
 39. Trump's Efforts to Dismantle AI Protections, Explained | ACLU of Florida, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.aclufl.org/en/news/trumps-efforts-dismantle-ai-protections-explained>

40. Trump's Efforts to Dismantle AI Protections, Explained | American Civil Liberties Union, 7 月 24, 2025 にアクセス、 https://www.aclu.org/news/privacy-technology/trumps-efforts-to-dismantle-ai-protections-explained?utm_source=chatgpt.com
41. What's in Trump's new AI policy and why it matters | PBS News, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.pbs.org/newshour/show/whats-in-trumps-new-ai-policy-and-why-it-matters>
42. US Department of Labor applauds President Trump's 'AI Action Plan' to achieve global dominance in artificial intelligence, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.dol.gov/newsroom/releases/osec/osec20250723>
43. The White-Collar Recession of 2025: AI and the Great Professional Displacement - SalesforceDevops.net, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://salesforcedevops.net/index.php/2025/02/28/the-white-collar-recession-of-2025/>
44. The effects of AI on firms and workers - Brookings Institution, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.brookings.edu/articles/the-effects-of-ai-on-firms-and-workers/>
45. The geography of generative AI's workforce impacts will likely differ from those of previous technologies - Brookings Institution, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.brookings.edu/articles/the-geography-of-generative-ai-workforce-impacts-will-likely-differ-from-those-of-previous-technologies/>
46. Generative AI, the American worker, and the future of work - Brookings Institution, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.brookings.edu/articles/generative-ai-the-american-worker-and-the-future-of-work/>
47. From over the Pond: The European Union's Comprehensive AI Legislation Comes to America | Blank Rome LLP, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.blankrome.com/publications/over-pond-european-unions-comprehensive-ai-legislation-comes-america>
48. Ministry: China firmly opposes US restrictions on AI exports | english.scio.gov.cn, 7 月 24, 2025 にアクセス、 http://english.scio.gov.cn/pressroom/2025-01/14/content_117662574.html
49. China says U.S. violating tariffs truce with moves on AI chips and student visas | PBS News, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.pbs.org/newshour/world/china-says-u-s-violating-tariffs-truce-with-moves-on-ai-chips-and-student-visas>
50. AI chip export control thaw poses questions about security, market access | S&P Global, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.spglobal.com/market-intelligence/en/news-insights/articles/2025/7/ai-chip-export-control-thaw-poses-questions-about-security-market-access-91619554>
51. The Nvidia Chip Deal Trades Away the United States' AI Advantage - Revista de Prensa, 7 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.almendron.com/tribuna/the->

- [nvidia-chip-deal-trades-away-the-united-states-ai-advantage/](#)
52. Understanding the Future of Artificial Intelligence Governance: Comparing the EU AI Act and U.S. Executive Order on Safe AI - Science, Technology, and Public Policy, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://stpp.fordschool.umich.edu/sites/stpp/files/2024-06/stpp-future-of-ai-governance.pdf>
 53. Assessing the U.S.-Japan Trade Deal Announcement, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.csis.org/analysis/assessing-us-japan-trade-deal-announcement>
 54. Blow softens for Japanese knives: Trump rolls back to 15%; Seki CEO sees strategy, not surprise, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://timesofindia.indiatimes.com/world/rest-of-world/blow-softens-for-japanese-knives-trump-rolls-back-to-15-seki-ceo-sees-strategy-not-surprise/articleshow/122856085.cms>
 55. Executive Order on the Safe, Secure, and Trustworthy Development and Use of Artificial Intelligence | The White House, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.acc.com/sites/default/files/2024-08/2023.10.30-Executive-Order-on-the-Safe--Secure--and-Trustworthy-Development-and-Use-of-Artificial-Intelligence--The-White-House.pdf>
 56. Ethical considerations for artificial intelligence: an overview of the current radiology landscape - PMC, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC7490024/>
 57. Artificial Intelligence Regulation Threatens Free Expression | Cato ..., 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.cato.org/briefing-paper/artificial-intelligence-regulation-threatens-free-expression>
 58. AI Without Bias: Can AI Be Truly Neutral? - Focalx, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://focalx.ai/ai/ai-without-bias/>
 59. Bias in AI: Examples and 6 Ways to Fix it in 2025 - Research AIMultiple, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://research.aimultiple.com/ai-bias/>
 60. NeurIPS Poster Truth is Universal: Robust Detection of Lies in LLMs, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://neurips.cc/virtual/2024/poster/96876>
 61. Truth is Universal: Robust Detection of Lies in LLMs, 7 月 24, 2025 にアクセス、
https://proceedings.neurips.cc/paper_files/paper/2024/hash/f9f54762cbb4fe4dbffdd4f792c31221-Abstract-Conference.html
 62. Enhancing Multiple Dimensions of Trustworthiness in LLMs via Sparse Activation Control - arXiv, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://arxiv.org/pdf/2411.02461?>
 63. Bias and Fairness in Large Language Models: A Survey - MIT Press Direct, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://direct.mit.edu/coli/article/50/3/1097/121961/Bias-and-Fairness-in-Large-Language-Models-A>
 64. The PRISM Alignment Dataset: What Participatory, Representative and Individualised Human Feedback Reveals About the Subjective a - NIPS, 7 月 24, 2025 にアクセス、
https://proceedings.neurips.cc/paper_files/paper/2024/file/be2e1b68b44f2419e1

[9f6c35a1b8cf35-Paper-Datasets and Benchmarks Track.pdf](#)

65. Inadequacies of Large Language Model Benchmarks in the Era of Generative Artificial Intelligence - arXiv, 7 月 24, 2025 にアクセス、
<https://arxiv.org/pdf/2402.09880>